



ほけんだより 9月

令和6年9月1日発行 なんぷこども園

9月の保健目標
夏の疲労回復に努める
病気や怪我に気を付ける



8月にみられた感染症

- 手足口病
- とびひ
- ヒトメタニューモウイルス
- 流行性耳下腺炎（おたふく）

9月9日は『救急の日』です。ご家庭での事故やけがの注意は万全でしょうか？小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。また、まだまだ続く暑さの中で、子どもたちは元気に走り回り遊びを楽しんでいます、夏の疲れが出てくる頃です。しっかりと睡眠をとるようにしましょう。

子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあい！

子どもがケガをしそうで「ヒヤッとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事でよかった」とすませるのではなく、なぜヒヤッとしたのか見直しましょう。

①「ダメ！」「危ない！」は“そこが危険”のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



②一度あれば二度、二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因が分かれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままになってしまいます。



③大人も一緒にやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。また、遊具やおもちゃは、一緒に遊んで正しい使い方を示すことも必要です。



④車の中にも危険が！

6歳未満の子どもにはチャイルドシートの使用が義務づけられています。体格・体重に合ったものを使用しましょう。また、手がドアや窓に挟まれないよう、チャイルドロックをかけたり、開閉時には必ず声を掛けましょう。

乳児用

年齢：0～1歳くらい
身長：70cm以下
体重：13kg未満



幼児用

年齢：1～4歳くらい
身長：65～100cm以下
体重：9～18kg

学童用

年齢：4～10歳くらい
身長：135cm以下
体重：15～36kg



ヒトメタニューモウイルスとは？

生後6ヵ月頃から感染することがあり、1～2歳での感染が最も多いです。1回の感染で十分な免疫はつかないので何度でもかかります。症状はRSウイルスに似ており、発熱・咳・鼻水などがあります。乳幼児は細気管支炎や肺炎を発症し、喘鳴が出て呼吸が苦しようになることがあるため注意が必要です。登園再開の目安は、発熱や咳（呼吸器の症状）が治まり、全身状態が良いこととなっております。

★ おしぼりタオルについて ★

園では、昼食後におしぼりタオルを使って手や口周りを拭いていますが、あまり小さいサイズの物だと子どもたちは上手に拭くことが出来なようです。ミニタオルではなく、おしぼりタオルを持たせて下さい。また、毎日洗濯をしても汚れが取りきれず…カビが繁殖してしまっていることがあります。お忙しいと思いますが、時々おしぼりタオルの汚れの確認・漂白、必要時は新しい物への交換をお願いします。
(未満児は食事用エプロンも確認をお願いします。)

